

松崎町 観光と防災

防災と観光の両立

メンバー ※学生の学年及び教員の職位は2024年度のもの
(地域環境・防災) 3年 前川愛依、吉田さくら
(アート&マネジメント) 3年 廣沢希実

指導教員：○准教授 原田賢治、准教授 山本隆太 ※○は責任教員

フィールドワーク実施協力者

松崎町企画観光課
松崎町総務課
松崎町立松崎小学校
松崎町立松崎中学校
静岡県立松崎高等学校
松崎町東区・西区・南区・北区・中区・宮内区のみなさま
企業組合松崎桑葉ファーム

地域概要

伊豆半島南西部の海沿いに位置する松崎町は、「日本で最も美しい村連合」に加盟しており、なまこ壁、棚田や海岸などの美しい景観を持つことから、観光地として有名な港町である。

しかし、海沿いに位置するため、南海トラフ巨大地震発生時には約7分で最大15mという大きな津波被害が想定されている。町内は細い道が多く、高齢化も著しいことからソフト・ハード面ともに防災施策への取り組みが急務である。



これまでの取り組み



防災訓練の実施

松崎町西区の津波避難タワーへ避難する地区において、地震発生時に通れなくなる恐れのある狭い道を封鎖して避難訓練を行い、津波避難タワーの設備紹介を行った。

災害時を意識した行動の促進と、防災施設の把握により災害時の住民の主体的な対応力を向上させる目的で行ったが、実際には防災施設や用具の使い方を把握していない住民が多かったため、緊急時に誰でも使えるような普及活動を行う必要性があると分かった。



観光防災マップの作成

2020年度に松崎町西区・中区・北区の住民のクチコミを元に、避難時の危険箇所や要注意箇所を掲載した防災マップを作成。

2021年度には、観光と防災を一体化したオンラインマップを制作し、観光地の分かりやすさを向上。施設の防災情報に加え、避難経路を動画・画像で示し、避難の手助けとなる内容にした。



Webスタンプラリーの実施

松崎町に住んでいる人々に町の魅力を再発見してもらう目的の下、町内の小学生を対象にした「まっざき魅力発見! webスタンプラリー」を実施した。スタンプラリーの対象地決定のために、町内の主な観光地の訪問や町内の小学生に対する観光地の認知度アンケートを行った。

2024年の活動について



【特産品を使用した商品パッケージの刷新】

松崎町の特産品である桑葉を使用した「伊豆の桑葉パウダー うどん」「伊豆の桑葉パウダー そば」（以下、桑葉うどん・桑葉そば）の商品パッケージデザイン案の作成に携わった。店頭での視認性が低いという課題を解決するため、デザインの提案を行い、昨年9月に完成。現在は店頭販売されており、多くの方に喜ばれていることから、観光振興にも貢献できたと感じている。

【津波避難に関する調査活動】

津波発生時に松崎町の住民の命を守る目的の下、津波避難に関する課題を明らかにする調査活動を行った。具体的には、調査対象区(東区・西区・南区・北区・中区・宮内区)にある津波避難場所の視察を行った。また、各区の区長および防災委員の方々に対してヒアリング調査を行い、避難訓練の実施方法や避難の支援体制の課題点を把握した。加えて、松崎町総務課消防防災係の職員の方から資料を共有していただき、松崎町の津波避難の現状を具体的に理解することができた。



これまで取り組んできたフィールドワークを振り返って

松崎町役場や企業、松崎町の住民の方との対話を大切にしながらフィールドワークに取り組んだ。その中で、沢山のあたたかいお言葉をいただき、励まされながら活動を継続することができた。今日まで、私たちに「地域づくりへの挑戦をする機会」を設けてくださった松崎町の皆様に心から感謝している。(吉田さくら)

地域の課題解決に取り組むという貴重な経験をさせていただき、「やりっぱなしで終わるのではなく、次にどう繋げていくのか」という取り組みを循環させていくことの重要性を学んだ。心よく私たちを受け入れてくださった地域の皆様のあたたかさに深く感謝し、この経験を今後の成長に活かしていきたい。(前川愛依)

約2年間にわたり地域と深く関わり、取り組みの考案から実行まで行い貢献するという貴重な経験を得ることができた。どの活動も地域の方々の協力なしには実現できなかったものであり、その支えに非常に感謝している。フィールドワークを通じて得た学びを今後の活動に活かしていきたい。(廣沢希実)